

司法福祉の実践と課題

— 埼玉県内での取り組みから —

研修のねらい

今年度のテーマは司法福祉についての実践と課題についてです。講師は、埼玉県地域生活定着支援センターでコーディネーターとしての実践活動を積んでおられる原恭子氏です。氏からは司法福祉分野の歴史と現状そして展望についてお話いただきます。

シンポジウムでは地域生活の定着（社会的包摂）を目指して実践している社会福祉士から、取り組みの一端を紹介して頂き、皆様と共に学びを深めていきたいと望んでいます。

1. 日 時 2018年9月17日（月／祝） 10：00～15：30

2. 会 場 さいたまま市産業文化会館 301・302

3. プログラム（予定）

時間	項目・時間
10：00～12：00 (120分)	講義：司法と福祉の連携に向けて — 刑務所を出所した障害者・高齢者の地域支援— 講師：原 恭子 氏 (埼玉県地域生活定着支援センター)
13：00～15：00 (120分)	シンポジウム：埼玉県内での実践 (1) 法に触れた被保佐人の支援を通して 原田真哉 氏 (ばあとなあ埼玉会員) (2) 刑務所でのソーシャルワーク実践から 鈴木四季 氏 (川越少年刑務所) (3) 更生保護施設でのソーシャルワーク実践から 尾川 勇 氏 (更生保護施設 清心寮)
15：00～15：30 (30分)	講評：原 恭子 氏

4. 生涯研修単位 0.3 単位

※ 本研修は独立型社会福祉士名簿登録更新要件を充たす研修会です

5. 受講対象 公益社団法人埼玉県社会福祉士会会員及び社会福祉士養成校学生

6. 定 員 50名 (先着順：受講できない場合のみ、ご連絡をします)

7. 受講費 2,000円 (資料代含む) ※研修当日、会場にて徴収します

8. 主 催 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 独立型社会福祉士事務所委員会

9. 申し込み方法 FAX又は郵送でお願いします